



シリーズ

追跡指令

気になる！一般質問等のその後!!

今回の指令

ドローン利活用のその後を追跡せよ!!

本市は、現在3台のドローンを所有している。平成28年の導入時には、本市と東京大学、株式会社ANA総合研究所の3者で、ドローンを活用した社会基盤構築に向けた協定を締結し、本市の立地を生かした実証実験が行われた。また、市職員などを対象としたドローン操作の研修や訓練も実施されている。

今回は、「本市のドローン利活用について」のその後を追跡し、報告せよ!!



ドローンの利活用に関する追跡調査報告書

本市では、さまざまな活用ができるよう、市職員などを対象としたドローン操作の研修会を実施してきました。令和元年度および2年度はコロナ禍の影響で実施できませんでしたが、これまでのドローンの活用をご紹介します。

ドローンは防災危機管理課が管理しており、行方不明者の捜索、災害状況の現地確認や消防出初式の撮影に活用しています。また、近年は天草広域連合消防本部にドローン隊が結成され、火災発生や大雨による捜索を行っているとのこと。



▲ドローンで撮影した議案資料(圃場整備前と圃場整備後)

ほかにも、観光PR写真の撮影、農水産分野の現地調査、遺跡の撮影、教育分野では施設の点検などに活用されており、議会でも、議案の資料にドローンで撮影した写真を用いられるようになり、より効率的な審議ができるようになりました。

また、各種実証実験にもフィールドの提供など協力しているとのこと。



▲出初式での放水競技

編集後記

新型コロナウイルス感染症による事業者支援策については、マスコミの報道により、各自自治体で知恵を絞ったさまざまな施策が見受けられます。本市にはない支援策に対して「天草市でも取り組んでほしい」といった羨望(うらやま)が多いのも事実です。

また一方では、中村市政から馬場新市長の体制へとつながっていく中で、他市にはない本市独自の支援策が存在するのも事実です。

私たち広報広聴委員会では、市政と市民をつなぐ大切なコミュニケーションツールである『議会だより』の役割として、そういった事実もお伝えできればと思います。

今年度からの新たな愛称『結』の名に負けないように、これからもなお一層市民と行政を結ぶ紙面づくりに努めてまいります。
(下田昇一郎)

広報広聴委員会



宮下幸一郎



副委員長
五通俊作



委員長
蓮池良正



門口 徹



柴田 誠



下田昇一郎